「初めての中間試験はどうでしたか！」

こんにちは！いつもお世話になります。新学年、最初の中間試験が終わり結果が返ってきているころではないでしょうか。今回は５教科で、科目数が少なかったので試験勉強もやりやすかったと思います。試験が返ってきたら、問題･答案用紙を持ってきて担当の先生に見てもらってください。答案を見れば、どこが理解できていなかったのか、単純なミスなのか暗記が出来ていなかったのかなどわかり、今後の参考になります。６月末から、期末試験がすぐ始まります。次回は、９教科と科目数が多いので早めに準備をしていきましょう。

最近、説明会などで様々な中学校・高校の先生方のお話を聞く機会があり、その席でどの先生も口をそろえて言われることがあります。それは、「当たり前のことが当たり前に出来る生徒がよい成績をあげている」ということです。出された宿題や言われたことをきちんとこなせる、生活のリズムが一定である、きちんと挨拶ができる、どれも「基本的で当たり前」のこと。これをいかに意識せずにできるかが成績を上げる１つのピースだと。効果的な勉強方法は、この「当たり前」のことができてからでも遅くありません。成績が伸び悩んでいる方は、まず生活のリズムを安定させることをで取り組んでみてください。

これからの予定

６月３日(月)
第１回　英語検定

６月下旬ごろから
中・高期末試験

おすすめの勉強法

中学編

最初の定期テストが返ってきて、思っていたよりも結果が悪かった人もいると思います。それはまだ、中学での勉強方法が確立されていないことが原因です。小学校では、授業をしっかり聞き家に帰って宿題をやっておけばよかったのですが、中学ではどの教科も分量が多いのでそれだけでは定着していきません。英単語や理社の暗記なら、覚えるまで繰り返し暗記が必要ですし、数学ならミスが無くなるまで反復練習をするなど宿題以外に自主的に足りていないところを自分でやっていくという姿勢が必要。これが出来てくると、結果もついてきますので中学での勉強方法に慣れていきましょう！

高校編

入学して2か月がたち、中学校との勉強の違いがよくわかってきたのではないでしょうか。その違いは、授業のスピードと習う分量の多さです。高校内容の１年分は、中学校の３年分と同じ量だと思ってください。そのため、中学校の時に復習中心に勉強してきた人は、予習中心の勉強方法に変えていかなければついていけません。明日の授業で習うことを６割くらいでいいので家で予習して理解し、残りは学校の授業で補完していきます。進学校の生徒は、例外なく予習中心の勉強方法をとっています。高校では、予習は金、復習は銀ではなく銅くらい価値が違ってくるのでそのことを知っておいてください。

漢検 日本漢字能力検定　全ての教科の基礎は漢字力です。今のうちに基礎学力をつけよう。ＩＫＵＥＩ個別学院は「漢字検定」の準会場として登録されています。